

作成日 2016年12月 9日
改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 Hamatite SC-MS1-HM

会社名 シーカ・ジャパン株式会社
住 所 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー 7 F
担当部門 オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS
電話番号 0463-31-2772
F A X 番号 0463-31-2769
整理番号 1206-R3
推奨用途 一般工業品（業務用）
使用上の制限事項 上記の用途以外に使用しない

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

物理化学的危険性 非該当
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2A
発がん性 区分 2
生殖毒性 区分 1B
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 区分 2

※ 記載がない項目は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険
危険有害性情報： 強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き： 《安全対策》
使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急処置》
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受けること。

《保管》

涼しい所／換気の良い場所で保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
 化学名： 変成シリコーン系シーリング材

成分名	含有量 (wt%)	化学特性 (化学式)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
シリル基末端 ^o リマー	—	—	非公開	—	非公開
充填剤	—	—	非公開	—	非公開
可塑剤	—	—	非公開	—	非公開
二酸化チタン	0～1.0	TiO ₂	(1)- 558	—	13463-67-7
カーボンブラック	0～1.0	C	元素	—	1333-86-4
酸化鉄	0～1.0	Fe ₂ O ₃	(1)- 357	—	1309-37-1
有機スズ化合物	0.1～0.3 (スズとして 0.08)	—	(1)- 1073 非公開	—	20344-49-4 非公開

成分名	化学物質管理促進法	労働安全衛生法
二酸化チタン	対象外	政令番号 第 191 号 (含有量 1%未満のため対象外)
カーボンブラック	対象外	政令番号 第 130 号
酸化鉄	対象外	政令番号 第 192 号 (含有量 1%未満のため対象外)
有機スズ化合物	第一種指定化学物質 政令番号 第 239 号 (含有量 0.1%未満の対象外)	政令番号 第 322 号

危険有害成分： 二酸化チタン、カーボンブラック、酸化鉄、有機スズ化合物
 (化学物質管理促進法、労働安全衛生法 通知対象物)

※二酸化チタン、カーボンブラックは湿化品のため、危険有害性はほとんどないと考えますが、データが不足しているため、粉体での危険性に準じた扱いで評価しています。

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合には速やかに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： 石けん及び水で洗い流す。炎症等が見られる場合は速やかに医師の診断を受ける。
 目に入った場合： 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: ペースト状
色	: 指定色
臭い	: ほとんど無し
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 115℃
自然発火点	: 250℃
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.40～1.60g/cm ³ (23℃)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件下では安定
反応性	: 水と反応して硬化するが、急激な反応に伴う危険性はない。
避けるべき条件	: 高温多湿
避けるべき材料	: 湿気 (水)
危険有害な分解生成物	: データ無し

11. 有害性情報

製品データ

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 既知の成分の計算結果が区分 2A に該当
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 既知の成分の計算結果が区分 2 に該当
生殖毒性	: 既知の成分の計算結果が区分 1B に該当
特定標的臓器／全身毒性	
単回ばく露	: データなし
反復ばく露	: 既知の成分の計算結果が区分 2 に該当
誤えん有害性	: データなし

急性毒性

二酸化チタン	(経口) ラット	LD50	>10000mg/kg
	(経皮) ウサギ	LD50	>10000mg/kg
	(吸入/粉塵) ラット	LC50	>6.82mg/L(4hr)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 :

二酸化チタン:ウサギに刺激性あり(マイルド)。

発がん性 : 二酸化チタン

ACGIH-A4 (ヒト発がん性に分類されない物質)

IARC-Gr.3 (ヒトに対する発がん性について分類されない。)

:カーボンブラック

IARC-Gr.2B (ヒトに対する発がん性があるかもしれない。)

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露):

肺:区分2(二酸化チタン)

20年以上職業暴露している労働者の極くわずかであるが、肺機能の変化は伴わないが、X線検査でじん肺症状が明らかになったとの記載により、判断されている(DFGOT vol.2(1991))

1.2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : データなし

水生環境有害性 長期(慢性) : データなし

残留性・分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

1.3. 廃棄上の注意

- ・専門の廃棄業者に委託する。または、自社廃棄の場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法令」に従うこと。
- ・内容物単独 : 安定型
- ・容器単独 : 安定型
- ・残余内容物(固化)が容器に付着している場合 : 安定型
- ・残余内容物(未固化)が容器に付着している場合 : 管理型

1.4. 輸送上の注意

国際規制 : 該当せず

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件:

容器から漏れのないことを確認する。

容器の転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

その他法令の定めるところに従う。

1.5. 適用法令

化学物質管理促進法 : 含有量から該当なし

第一種指定化学物質 政令番号 第239号(有機スズ化合物)

労働安全衛生法 : 第57条の2第1項(通知対象物)

政令番号 第 130 号 (カーボンブラック)

政令番号 第 322 号 (スズおよびその化合物)

消防法 : 非危険物 指定可燃物 (可燃性固体類)

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散量区分 : (日本シーリング材工業会) ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定 JSIA-027029 F☆☆☆☆

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者を提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本 SDS は改訂されることがあります。また注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。